
歴史若道書きの真面目エッセイ

蒼樹 仁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歴史若道書きの真面目エッセイ

【Nコード】

N5019BA

【作者名】

蒼樹 仁

【あらすじ】

自サイト『幽かな風〜君がもとで咲く花なれば〜』に同文記載あり。

この山道を行きし人あり（前書き）

『街道を行く』を気取って。

この山道を行きし人あり

これこれこういう謂れで名付けられたものである、などと由緒正しき地名がある。その様な由来を持つ、あまりの険しさに胸を突く様にして上らねばならなかったという胸突坂を、私は息を切らしながら歩いている。

己の今行く道が先人の通ったものと思うと奇妙な気分になる。同じ地面を踏み締めていると言っても、江戸時代以前こんなコンクリートではあり得なかったろうし、周囲の景色は随分と異なるだろう。

富士見坂という名は関東各地に点在するが、今日では大抵そこから富士の山をちらりと望む事も叶わない。

先人と同じその場所、そして面影も残らぬ風景。それがいいとか悪いとかではなく、思い浮かべるとすぐにふっと消え失せる髷姿の、あるいは着物姿の人びとが、様々な場所で私の目の前を行き過ぎていくのである。

歴史・史実とドラマのはざまで（前書き）

自サイト『幽かな風』にてほぼ同文記載。

歴史・史実とドラマのはざまで

このところ、歴史ドラマに関して随分と考えが変わってきました。史実をなぞるだけならドキュメンタリー番組でいいじゃん、何の為のフィクションぞ。

まあ人は変われば変わるもんです。あれだけ戦国うんたらゲームを叩いていた奴がねえ。でも、あのゲームだけはまだ好かんですが。

そこそこ長い間歴史ものを書いてみると、遊びや独自の見方をしたくなってくるものです。というか、せざるを得なくなってくる。あの人物のあの言動にはどういう心理が働いているのだろうか、どうしてあんな暴挙に出なければならなかったのだろうか？

そういう意味での面白さに掛けて、織田信長の右に出る者はいないと思います。歴史小説の題材で信長は圧倒的人気を誇っているのだそうですが、その意味が実感として良く解る様になりました。ともかく書きやすい、イジリやすい（笑）

私も信長がメインで出てくるものを2つ構想中で、どちらも自分のアイディア中、一軍に属する有力選手です。あ、やっぱり構想にも一軍二軍があるのです^^

何だって突然こんな話をしだしたかって、今年のNHK大河ドラマが早々と話題沸騰中だからです。まだ一回しか放送しておらんに、それにストーリーその他に原作者以外が口出しするのは、どうなんだろうなあ。

問題の事は、権力を獲得し、やがて貴族化して行く平家を色彩的にも表現したかったのかもしれない、と私などは思います。武士＝貧乏、などと思うのであれば大誤解ですが。

見る側から生産する側の視点になりつつある、歴女の呟きでした。
真面目エッセイとほざきながら、2回目でもう既に口調がわれて砕
けて裂けて散るかも！。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5019ba/>

歴史若道書きの真面目エッセイ

2012年1月13日22時46分発行